

第32回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会 (プログラム)

日 時：令和6年10月19日(土) 13:30から

場 所：金沢市アートホール 金沢駅前

ポルテ金沢 6F (ホテル日航隣)

金沢市本町2丁目15番1号 TEL 076-224-1660

当番世話人：富山大学 小池 勤

一般演題1

13:35-14:15

座長 富山大学附属病院 透析部 山崎 秀憲

1 大動脈弁狭窄症の高齢維持透析患者に施行した経カテーテル的大動脈弁植え込み術 (TAVI) の5例

心臓血管センター金沢循環器病院 腎臓内科

○北島 進

維持透析患者の主な心血管系合併症の一つに大動脈弁狭窄症 (AS) がある。以前は重症例に侵襲的開心術で治療していたが、日本において2021年より透析患者のASに対する比較的侵襲の少ない経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) が承認された。2023年から当院でも採用された透析TAVI施行症例5例の経過を提示する。

2 血液透析患者においてレオカーナが奏功した1症例

だいもん内科・腎透析クリニック

○西谷光広、大瀧 睦、木下麻衣子、田中里実、
円城真衣、村田千春、鎌口美穂子、北本貴弥、
森内則子、保志場紀子、澤崎真由美、上田律子、
大門正一郎

患者：60歳台 男性

主訴：右下腿の痛み

右足趾の潰瘍、黒色壊死を生じた疼痛を伴うびまん性膝下血管狭窄の患者に対し、レオカーナ治療を開始した。レオカーナは24回施行、疼痛は軽減し、潰瘍径は縮小した。治療効果判定には疼痛スケールとレーザー血流計、および超音波下肢エコーを用いて判断した。

3 血液吸着療法とアミオダロン持続静注により救命したトリカブト中毒の1例

富山市立富山市民病院 腎臓内科

○池田 裕、佐藤晃一、若山卓史、倉田多鶴子、
大田 聡、石田陽一

【症例】20歳代、女性【経過】トリカブトを摂取し当院救急搬送となった。血圧低値、頻発する非持続性心室頻拍 (NSVT) を認めた。ICUに入室し、アミオダロン持続静注とヘモソーバCHS[®]を使用した血液吸着療法を開始した。治療に伴い、NSVTの頻度は減少し血圧も上昇した。循環動態は安定し、入院4日後に退院した。【考察】血液吸着療法とアミオダロン持続静注の併用で救命に成功した1例を経験した。若干の文献的考察を含めて報告する。

4 糖尿病性腎症合併膜性腎症に対するLDLアフェレーシスの1例

金沢医科大学 腎臓内科学

○平辻 寛、藤井 愛、白川智彦、岡田圭一郎、
林 憲史、藤本圭司、横山 仁、古市賢吾

約10年の病歴を有する2型糖尿病の50歳台男性。網膜症治療歴はなし。両側下腿浮腫にて近医を受診した際に尿蛋白10.4g/gCr、血清Alb2.9g/dLとネフローゼ症候群と診断された。腎生検にて糖尿病性腎症合併膜性腎症と診断され、PSL30mg/日およびCYA150mgが開始された。しかし、高度蛋白尿が持続したため、LDLアフェレーシスを併用した。その後、尿蛋白3.1g/gCrまで改善した。糖尿病性腎症合併膜性腎症にLDLアフェレーシスが有効であった1例を報告する。

一般演題2

14:15-14:55

座長 金沢医科大学 腎臓内科学 白川 智彦

5 誘因なく、意識障害で発症したコレステロール塞栓症の一例

石川県立中央病院 腎臓内科・リウマチ科

○上木大雅、柳澤宏嘉、小眞頼明斗、堀田真琴、
額 裕海、藤井 博

74歳、男性。陳旧性脳梗塞、高血圧症、脂質異常症で通院。当科入院1か月前に嘔吐と意識障害を認め脳神経内科に入院。自然軽快し一旦退院するも腎不全進行（Cr4.5mg/dl）を認め当科入院となった。腎生検にてコレステロール塞栓症（CCE）と診断した。先行する血管処置を伴わず、一過性の意識障害もCCEによる脳虚血が原因と考えられた。

6 紅麹サブリの関与が疑われる急性腎不全を発症した一例

国立病院機構金沢医療センター 腎・膠原病内科

○池田 恵、南部文香、宮川太郎、北川清樹

【症例】60歳台女性。X-2年から紅麹サブリを服用していた。X年1月中旬から倦怠感、食欲不振、嘔吐が出現し当院を受診した。血液検査では腎機能障害（BUN 56.2mg/dL、Cr4.06mg/dL、eGFR4.03ml/min/1.73m²）に加えて代謝性アシドーシス（HCO₃-10.3mmol/L）を認めた。入院の上補液などにて保存的加療を行い、腎機能は緩徐に改善した。後日、紅麹サブリの服用が判明し、腎障害の原因と考えた。

7 前立腺癌の治療中に合併した腎アミロイドーシスの1例

福井県済生会病院 内科

○梶川 尚、上川康貴、加藤珠代、潮木保幸

70歳台、男性。前立腺癌のホルモン療法中であった。X-1年4月に尿蛋白が出現した。経過で低蛋白血症も進行し、X年3月にネフローゼ症候群に至った。保存的に診るも改善が乏しく、X年8月に腎生検を行った。PAM染色で糸球体係蹄壁に肥厚と突出する構造を認め、膜性腎症として治療した。その後、DFS染色・蛍光抗体・電顕の所見より腎アミロイドーシスと診断した。非AL型、非AA型と考えており、近年の腎アミロイドーシスの動向と今後の当院の課題も踏まえ報告する。

8 アシクロビル脳症を発症し持続的血液濾過透析にて改善した一例

1) 公立松任石川中央病院 腎リウマチ内科

2) 公立つるぎ病院 内科

○木村友紀¹⁾、越智雅彦¹⁾、山森文敬¹⁾、松田優治¹⁾、
高枝知香子²⁾

80歳台、女性。もともと腎機能障害の指摘はなかった。X-4日に、近医で带状疱疹に対してバラシクロビルなどを処方された。X-2日に腰痛と体動困難にて前医を受診し圧迫骨折で入院した。X日に意識障害、構音障害が出現し、Cr5.51mg/dLの急性腎障害も認めており、当院へ転院した。アシクロビル脳症・腎症を疑い持続的血液濾過透析を施行したところ、意識障害と腎機能障害は改善を認めた。腎機能障害を認めていない症例でもアシクロビル脳症を起こす可能性があり高齢者には注意が必要である。

一般演題3

14:55-15:35

座長 金沢大学 腎臓・リウマチ膠原病内科 水島 伊知郎

9 生体腎移植後再発した抗ネフリン抗体高値の微小変化型ネフローゼ症候群 (MCNS) / 巣状糸球体硬化症 (FSGS) で、リツキシマブが奏功した1例

藤田記念病院 内科

○宮崎良一、宮城恭子、宮永達人

症例は59歳、男性。15歳でMCNSと診断され48歳で血液透析開始。50歳で弟を提供者として生体腎移植を受けた。約1年後にネフローゼ症候群再発し、移植腎生検を受けFSGSと診断された。その後数回LDLアフェレーシスをうけたが高度蛋白尿は不変であった。X年1月再度当院で移植腎生検を行い結果はMCNSであった。腎生検前の抗ネフリン抗体は517U/mLと高値であった。入院後1クルールのメチルプレドニン・パルス療法後リツキサン200mg/body1回投与7日後に蛋白尿は消失した。

10 当院で経験したDSA陽性かつABO不適合生体腎移植3例の検討

1) 金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

2) 金沢大学附属病院 泌尿器科

○嶋口優太¹⁾、迫 恵輔¹⁾、池田 恵¹⁾、森 杏里¹⁾、
林 大輝¹⁾、南太一朗¹⁾、中川詩織¹⁾、大島 恵¹⁾、
西岡 亮¹⁾、伊藤清亮¹⁾、北島信治¹⁾、水島伊知郎¹⁾、
坂井宣彦¹⁾、清水美保¹⁾、酒徳直明²⁾、福田理恵²⁾、
牧野友幸²⁾、岩本大旭²⁾、八重樫洋²⁾、川口昌平²⁾、
野原隆弘²⁾、溝上 敦²⁾ 岩田恭宜¹⁾

当院ではこれまでにDSA陽性かつABO不適合生体腎移植3例を経験した。脱感作療法として、いずれの症例でも血漿交換やDFPP、リツキシマブ投与、IVIGを施行した。全例で移植を実施し、拒絶反応なく良好な経過を辿ったが、各症例においていくつかの課題がみられた。DSA陽性ABO不適合生体腎移植の管理について文献的考察を加え報告する。

11 リツキシマブによるABO不適合腎移植前脱感作療法中に発症した単純ヘルペスウイルス髄膜炎の一例

1) 福井大学医学部附属病院 腎臓内科

2) 福井大学医学部附属病院 泌尿器科

○糟野健司¹⁾、西森一久¹⁾、渡邊佑衣¹⁾、西川 翔¹⁾、
西川雄大¹⁾、小林麻美子¹⁾、福島佐知子¹⁾、高橋直生¹⁾、
多賀峰克²⁾、寺田直樹²⁾、遠山直志¹⁾

52歳男性。術前のHSV-IgGはEIA価78.1（カットオフ0.2未満）で陽性であった。夫婦間ABO不適合（AB→A）生体腎移植のため、第2病日より移植14日前脱感作としてRTX100mg単回静注とPSL10mgおよびMMF1500mgを開始した。第7病日に発熱と頭痛、項部硬直を認め、第11病日に髄液PCRにてHSV髄膜炎と診断した。アシクロビル注330mgにより改善した。ABO不適合移植に対してRTXを用いた脱感作中にHSV髄膜炎を発症した報告は調べた限りないため報告する。

12 ABO不適合生体腎移植後に血栓性微小血管症（TMA）を発症し移植腎摘除に至った1例

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科

○小川晃寛、山口かおり、鍵谷聡一郎、清水英子、
舟本智章、篠崎康之

富山県立中央病院 泌尿器科

上田太郎、中野泰斗、武澤雄太、島 崇、瀬戸 親

50歳代女性、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による末期腎不全で維持血液透析中であった。夫をドナーとしたABO不適合生体腎移植を施行したが、血流再開後1時間で移植腎の血色不良を認め、術後に貧血や血小板減少が進行した。TMAと診断し、血漿交換療法やエクリズマブ投与を行ったが、治療効果に乏しく移植腎摘除術を施行した。

一般演題4

15:35-16:25

座長 福井大学 腎臓内科 遠山 直志

13 ANCA陰性pauci-immune型半月体形成性糸球体腎炎を呈した高安動脈炎の一例

石川県済生会金沢病院 内科

○吉田美咲、若林慶子、堀田成人

金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

西岡 亮、朝倉啓太、原 怜史

44歳男性。1週間前から抗菌薬無効の発熱・右胸膜炎が出現し、CTで大動脈弓部～左鎖骨下動脈に壁肥厚を認め高安動脈炎と診断した。蛋白尿・血尿も認め、腎生検ではpauci-immune型の半月体形成性糸球体腎炎を呈していた。ANCA陰性であり高安動脈炎による腎病変と判断しプレドニゾロン0.9mg/kg/日を導入し寛解した。

14 当院における小児C3腎炎8症例の臨床経過の比較検討

(独) 国立病院機構金沢医療センター 小児科

○笠原理愛、岩崎 茜、加畑映理子、福田隆文、

中農万里、小幡美智、井上巳香、酒詰 忍、太田和秀

過去5年間ににおける小児C3腎炎8症例における臨床像の違いを比較検討した。何もせずに軽快した症例、ステロイド剤を含めた薬物療法にて軽快した症例、感染を契機に再増悪を繰り返す症例など多種多様であった。また、C3腎症関連遺伝子の検索も5例の患者にてお願いしているが、今のところC3腎症に関連する遺伝子変異を持った患者は発見されていない。

15 サリルマブ（SAR）で寛解下の関節リウマチ（RA）に合併し半月体形成性糸球体腎炎を呈した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の一例

1) 高岡市民病院 内科

2) 厚生連高岡病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

3) 金沢医科大学 血液免疫内科学

○鈴木一如¹⁾、鈴木信博¹⁾、鈴木 舞¹⁾、篠田晃一郎¹⁾、

中濱克之¹⁾、三宅泰人²⁾、川野充弘³⁾

67歳、女性。20年前にRAと診断され、3週間毎のSAR150mg皮下注射にて安定していた。気管支喘息の既往もあった。3ヶ月前から蛋白尿と血尿が出現し、全身倦怠感や食思不振の自覚症状も伴った。血液検査にてCRP高値、好酸球増多、MPO-ANCA高力価陽性がみられ、腎生検ではフィブリノイド壊死を伴う細胞性半月体、糸球体係蹄内や間質の好酸球浸潤、肉芽腫病変などを認めEGPAと診断された。IL-6阻害薬とEGPA発症の関連など文献的考察を加えて報告する。

16 COVID-19感染後に発症した、IgGの線状沈着を欠く抗GBM抗体型糸球体腎炎の1例

1) 国民健康保険小松市民病院

2) 金沢大学 腎臓・リウマチ膠原病内科

○笠原菜摘¹⁾、加治貴彰¹⁾、谷悠紀子¹⁾、西岡 亮²⁾、
原 怜史²⁾、伊藤清亮²⁾、坂井宣彦²⁾、岩田恭宣²⁾

52歳の女性。COVID-19感染後に遷延する発熱で当院に紹介受診し、精査で腎機能障害と抗GBM抗体陽性が判明した。光学顕微鏡では抗GBM抗体型糸球体腎炎に矛盾しなかったが、蛍光抗体法でIgGの糸球体壁への線状沈着を認めなかった。COVID-19感染症と抗GBM抗体型糸球体腎炎の関連、また組織学的にIgGの線状沈着を認めない症例について文献的考察を含めて報告する。

17 長期CHDFから離脱し得たCOVID-19関連劇症型心筋炎の1例

富山大学 第二内科

○山崎秀憲、三井菜々映、近 聡子、横山真伍、
村井沙耶佳、小池 勤、掛下幸太、泉田俊秀、
中垣内昌樹、中村牧子、絹川弘一郎

59歳女性。X年5月COVID-19関連劇症型心筋炎で入院。IMPELLA CPとV-A ECMOで血圧は維持されたが、下肢虚血による横紋筋融解でCK24,576U/Lへ上昇し、AKIを来したため第7病日CHDFが開始された。第8病日central ECMOにアップグレードされ以後CKは低下、心機能も回復し、IMPELLA CPとECMOを、第62病日CHDFを離脱した。

テーマ演題

16:25-16:55 (献腎移植)

座長 金沢医科大学 腎臓内科学 古市 賢吾

18 腎臓病の既往を有するドナーからの臓器提供・献腎移植の1例

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科

○篠崎康之、鍵谷聡一郎、小川晃寛、清水英子、
山口かおり、舟本智章

富山県立中央病院 泌尿器科

上田太郎、中野泰斗、武澤雄太、島 崇、瀬戸 親

10歳代 男性。巣状分節性糸球体硬化症の診断後、約3年の経過で末期腎不全に至り、2021年に透析を開始した。ドナーは8年前にTINU症候群を発症し、免疫抑制療法で寛解後、4年前に内服を中止して経過観察されていた。移植時の腎生検では病的所見は確認されず、移植後の腎機能も安定している。

19 当院における2023年度脳死腎移植の報告

1) 富山大学学術研究部医学系 腎泌尿器科学講座

○小田切幸哉、西山直隆、芝 美咲、室真樹子、
桧山佳樹、池端良紀、渡部明彦、藤内靖喜、北村 寛

2) 富山大学学術研究部医学系 内科学第二講座

横山真伍、有澤 悠、藤岡勇人、掛下幸太、山崎秀憲、
小池 勤、絹川弘一郎

【緒言】

今回我々は2023年度に当科にて行った脳死腎移植の1例を報告する。

【症例】

症例51歳女性。23歳時にAlport症候群による慢性腎不全に対して当院で血液透析を導入。2023年Y月X-2日に献腎移植を目的に腎臓内科に入院。術前精査と免疫抑制療法の後Y月X日に当科にて献腎移植が施行された。術後免疫抑制の3剤併用に加え、バシリキシマブを移植X日、X+4日に投与した。その後、術後X+31日目に退院となった。

【結語】

当院で行った脳死腎移植を経験した。その後の経過も含めて報告する。

特別講演

17:00-18:00

座長 富山大学 小池 勤

「補体の関連する腎疾患と抗補体療法の可能性」

名古屋大学大学院医学系研究科

腎不全システム治療学寄附講座・腎臓内科 特任教授

水野 正司 先生

神話の時代から健康は永遠のテーマ

生命関連産業

アポロンの子、アスクレピオス。
ケンタウロス(半人半馬)の
ケイロンに医療と薬草の知識を学び
やがては師を越えて
その奥義を極め、
万病を癒す神として
古代ギリシアの人達に
崇められました。
その信仰の広まりとともに
アスクレピオスを祀る
神殿や治療所が各地につくられ、
諸国から求療者が絶えることなく
集ったといわれます。
人類が健康に対していただく
切なる願いは遠く神話の時代から
宇宙開発に乗りだした現代まで
なんら変わるものではありません。
生命はまだまだ未知の領域です。



〈Asclepios〉

私たち扶桑薬品工業は
創業以来80有余年、
治療上不可欠な医薬品のみを
一すじにつくり続けて参りました。
その成果のひとつが
点滴としてなじみ深い輸液や
人工腎臓用透析液の分野での
トップクラスの実績となって
あらわれています。
くすりは人の健康と生命に
直接関与するものです。
従ってそれをつくる企業には、
それにふさわしいモラルと敬虔さが
要求されるのは当然と考えます。
私たちはこれからもたゆむことなく
生命関連産業に携わる一員として
真摯にその本分を
尽してまいります。

明日の健康を
めざして



扶桑薬品工業

扶桑薬品工業株式会社 ●本社／大阪市中央区道修町一丁目7番10号
本社事務所／大阪市城東区森之宮二丁目3番11号
TEL(06) 6969-1131(大代表)
支店／札幌 仙台 東京第一・第二・第三 名古屋 大阪 岡山 広島 福岡
研究所・工場／研究開発センター 城東工場 大東工場 岡山工場 茨城工場



非ステロイド型
選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬

薬価基準収載

ケレンディア[®]錠 10mg
20mg

Kerendia[®] tablets 10mg/20mg

フィネレノン錠

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

2023年6月1日
投薬期間制限
解除

禁忌を含む注意事項等情報の詳細については、最新の電子添文をご参照ください。



Bayer

製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<https://pharma.bayer.jp>

【コンタクトセンター】

0120-106-398

<受付時間> 9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）

人と動物の健康の向上 – 私たちの目標

イノベーションによる
価値

ベーリンガーインゲルハイムは、
研究開発主導型のバイオ製薬企業の
リーディングカンパニーとして、
アンメットメディカルニーズの
高い分野において、イノベーションによる
価値の創出に日々取り組んでいます。
1885年の創立以来、
ベーリンガーインゲルハイムは、
株式を公開しない独立した企業形態により
長期的視野を維持しています。

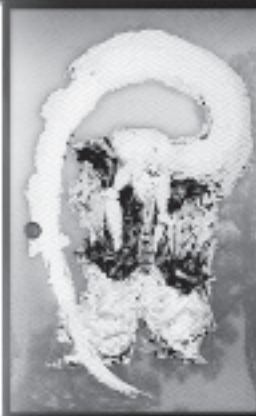
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

本社 / 〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
<https://www.boehringer-ingelheim.com/jp/>



Boehringer
Ingelheim

Sumitomo Pharma



糖尿病用剤

薬価基準収載 処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

ツイミーグ錠 500mg
TWYMEEG Tablets イメグリミン塩酸塩錠

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等につきましては、
電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先）

住友ファーマ株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

TEL 0120-034-389

受付時間 / 月～金 9:00～17:30（祝・祭日を除く）
<https://sumitomo-pharma.jp/>

2024年2月作成



HIF-PH阻害剤 一腎性貧血治療剤— 薬価基準収載

 **バフセオ錠** 150mg
300mg
VAFSEO® Tablets 150mg, 300mg (パダデустット錠)

創薬 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

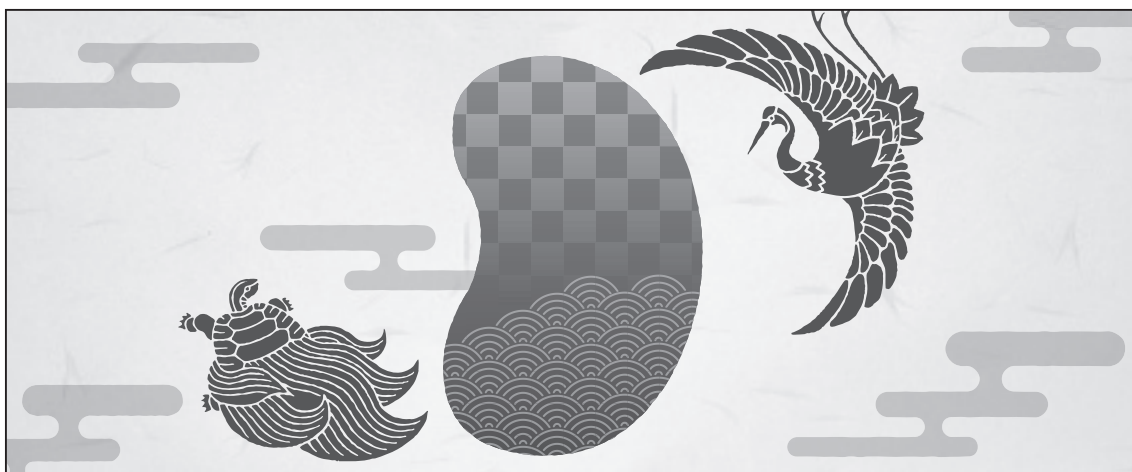


製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10



プロモーション提携
扶桑薬品工業株式会社
大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

2023年7月作成



HIF-PH阻害薬 腎性貧血治療薬 薬価基準収載

エナロイ錠 2mg・4mg

ENAROY® tablets 2mg・4mg (エナロデустット錠)

創薬、処方箋医薬品^(注)

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等は、電子化された製品添付文書をご参照ください。



販売元
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1



製造販売元
日本たばこ産業株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

文献請求先及び問い合わせ先
鳥居薬品株式会社 お客様相談室
TEL 0120-316-834
FAX 03-3231-6890

2022年11月作成

たった一度の
いのちと
歩く。

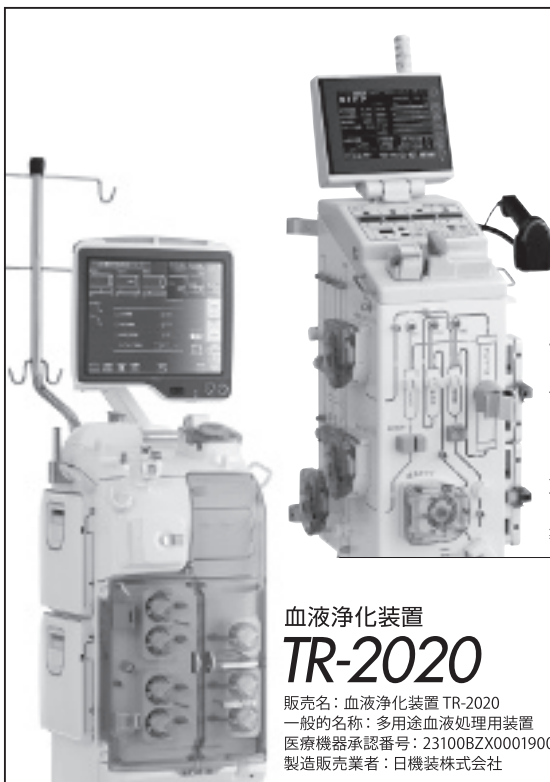


KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成



血液浄化装置 TR-2020

販売名：血液浄化装置 TR-2020
一般の名称：多用途血液処理用装置
医療機器承認番号：23100BZX00019000
製造販売業者：日機装株式会社

私たちは、良質で高度な
医薬・医療製品とサービスの
提供を通じて社会に貢献します

血液浄化装置 AcuFil® Multi 55X-III

販売名：血液浄化装置 AcuFil Multi 55X-III
一般の名称：多用途血液処理用装置
医療機器承認番号：23100BZX00023000
製造販売業者：株式会社ジェイ・エム・エス



ACT 測定装置 CA-300

販売名：ACT 測定装置 CA-300
一般の名称：凝固測定用経過時間タイマ
医療機器届出番号：11B3X00006000026
製造販売業者：株式会社アベレ

販売業者

東レ・メディカル株式会社

<https://www.toray-medical.com/>

腹膜透析用カテーテル

PD CATHETER



認清極亮元【資料請求先】



人工能器門商社
株式會社 **精奇**

T920-0947

石川県金沢市笠輪本町2丁目26番7号
TEL:076/222-5531 増「AX:076/222-2922

TEL (076) 222-5531 FAX (075) 222-2922

〈メ 毛〉

[illegible]

参加者へのご案内

個人情報の保護について

Web講演の録画や録音、写真撮影（画面のスクリーンショット含む）は決して行わないでください。

個人情報に関する内容に関しては本人・団体の許可なく、学会の中で知り得たことを外部に情報拡散しないでください。

*発表7分、討論3分をお願いします。（テーマ演題は、発表10分、討論5分）

*パソコン（Windowsのみ）発表とします。Windows10で作成したPowerPoint 2013以降のfileをUSBフラッシュメモリーもしくはCD-Rでご持参下さい。

*会場費1,000円をお支払い下さい。

*客席内は飲食禁止です。（ホワイエ・エレベーターホールは可）

*駐車場の割引券の発行はありません。

*単位について

日本透析医学会（5単位）

日本泌尿器科学会（3単位）

日本腎臓学会専門医制度（1単位）

日本腎不全看護学会（3単位）

以上の単位が認定されます。

北陸腎疾患・血液浄化療法研究会事務局

〒920-0293

河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学 腎臓内科学教室内